



静岡県立沼津商業高等学校同窓会

〒411-0917

静岡県駿東郡清水町徳倉1205

TEL 055-932-5747 (FAX共用)

待ち遠しい

二〇二〇年

東海大学  
名誉教授

宮川千秋

(高一八回)

東京オリンピック・パラリンピックは大きな期待と不安が待ち受けています。この思いは私だけでしょうか。一緒に考えていたいただきたいと思えます。まず、その期待は何と言っても我が国の競技力の高さです。昨年のリオデジャネイロ大会の結果がそれを証明しています。夏季大会の過去最多四十一個メダルを獲得しました。そして、その感動・感激の余韻は今も鮮明に残っています。私は、この祭典に一九八四年ロサンゼルス大会から関わって九大を三〇余年に及ぼします。関わり方はコーチ、解説、評論など立場と役割は変わっても進化の内容を見届けて来ましたが、その中で最も特筆すべきものは競技力の向上です。ここからはあまりにも期待が大きいためには

安も増幅します。それは、トレーニングの手法です。選手は能力の限界ぎりぎりの挑戦を日常的に実践しています。「オーバーリーチング」という手法です。ハイリスク・ハイリタインの常に危険(障害・ケガ)と隣り合わせになります。効果は絶大です。昨今、純粹なトレーニング方法では創意・工夫を凝らしてもその効果は「頭打ち」の状態です。スポーツ医・科学の驚異的な進歩と支援体制があつたとしても、明らかに人間の正常値では不可能な異常な競技力が出現しています。ここからは、さらに不安が高まる問題です。その問題は禁止薬物を使用し競技力を異常に向上させる非合法的なドーピングです。このドーピングの蔓延はスポーツの本質を揺るがす許しがたい行為です。直近では、ロシアの国家ぐるみ・組織的ドーピングに国際オリンピック委員会は厳正な措置を下しました。何故、これほどまでに蔓延するのか。絶対的な抑止力になるドーピング検査が、ドーピングの手法に完全に遅れをとっているからです。それを証明す

るかのように検査の検体(尿)の保存期間(二〇年)が延長しています。その理由は、新たな検出方法が開発され精度の高い再検査を余儀なくされているからです。オリンピックが終わり数年後に、陽性反応が出たため失格、メダル剥奪、順位の繰り上げなどの措置は、悔しい空しさの証しです。過去の北京・ロンドン両大会でメダリスト四七選手が陽性が判明しました。実に八年前のことが、昨年十二月に判明しました。この現象はパラリンピックへも負の連鎖となり深刻さを増しています。さらに、新たな問題がでてきました。それは、有力な競技者が国籍を変更して出場することです。その背景には国別に各種目ごと出場枠が決められていますが、自国の選手層が厚く来た世界レベルであっても出場できない現状があるからです。当然、受け入れ国の打算的な働きかけが拍車をかけることとなります。メダル獲得のためなら手段を選ばず、メダルと国籍を高額で取引する。これこそが問題なのです。顕著な事例は、長距離種目における多数のアフリカ勢の国籍変更です。また、まだ少数ではありますが、卓球では中国の選手にその傾向が見られます。この現象に歯止めをかけるべき規則の厳格化を進めていますが、一向に治まる気配はありません。選手個々のアイデンティティーが最後の砦のようです。何

故、このようなことが起こるのか、それは、オリンピックの商業化が急速に進んだ結果です。競技成績に見合う対価が、規則を犯し健康も害し、また倫理に背いてもその代償が十分に報われるからです。そして、更なる不安は巨額な大会経費の問題です。総試算額は二兆円とも言われています。二〇一三年に東京招致が決まってから、公式エンブレムの盗作疑惑や新国立競技場の初めのデザインの白紙撤回とつまづきが続きましたが、すでに新国立競技場の起工式も終わり確実に大きな歩を踏み出しました。しかし、更なる難題が出てきました。それは、会場決定の迷走ぶりです。経費削減が主たる目的ですが、東京に招致が決まった時点の計画・条件などを大きく変更はできません。まさに、これからはオールジャパンの英知を結集し決めていくこととなります。何故、このような不協和音が起きてしまったのか、それはビジョンが見えないからです。「なぜ、開くのか」「何のために」この根幹となる目的を国民一人ひとりが共有することです。そして、全ての不安が少しづつ払拭され期待に満ち溢れて二〇二〇年には、我が国が世界に発信するメッセージは単なる「スポーツの祭典」から「平和の祭典」への転換を図るオリンピックの原点回帰のものになることを願っています。皆様と。

## チーム沼商! チャンスを掴め



教頭  
見城喜哉

創立一七八年の歴史ある沼津商業高校に赴任し、身の引き締まる思いです。また同窓会の皆様方の沼商に対する熱き思いと結束力を目の当たりにして、さすが伝統校の沼商だと実感させられました。

私が沼商に着任して沼商生と接して感じたことが三つあります。一つ目は、心のこもった挨拶ができることです。沼商には「マナーの日」があり、立ち止まって大きな声で気持ちのいい挨拶をしてくれます。二つ目は、制服を正しく上品に着こなしていることです。日常的に正しい身だしなみが身についています。三つ目は、規律正しい生活と沼商での学びに誇りを持つていることです。欠席・遅刻・早退が少なく、授業を大切にする姿勢が感じられます。毎日の清掃活動も自ら進んで行い学校を常に綺麗にし、大切にしています。これらは、まさに沼商の歴史と伝統に裏付けられた成果です。私はこのような沼商生のために何ができるのか、大変重い課題を突き付けられた気がします。私の教員生活を振り返って見る

と、スタートの三島南高から清水商業、静岡商業、静岡市教委そして沼津商業とそれぞれが特色のある職場です。教員生活前半は、商業教育はもとより、生徒指導そして部活指導とびまわる毎日でした。早朝より簿記や情報処理の補習を行い、クラス全員合格」を目標に生徒と共に学びました。また、先輩教員より生徒指導の極意を教わり、悩みながらも生徒の成長を楽しみに過ごす毎日でした。部活指導は、夢であった高校野球の監督となり甲子園出場を目指し、生徒および自分自身との戦いの毎日でした。教員生活後半は、商業教育ではより専門性を深め、毎日の授業を大切にしました。学年主任として過ごした三年間は学年がチームとしてまとまり、先生方一人ひとりの持つ能力の高さに助けられ、卒業式で流した涙は今でも忘れられません。部活指導では、念願の甲子園出場を叶えられ甲子園で勝利し、校歌を歌えたことは最高の思い出となりました。このよう

な教員生活の中で、「夢・出会い・日常・信念・準備・チャンス・失敗・粘り・感謝・笑顔・チーム・言葉」などをキーワードとして学びました。

沼商では特に、「チーム沼商」として、人との出会いの大切さと、人に感謝する素直な心、最後まで諦めない粘りを生徒と共に学ぶ中で「チャンスを掴み」、沼商の発

展に少しでも寄与していきたいと思えます。

最後になりましたが、同窓会の益々の御発展をお祈り申し上げますと共に、同窓会の皆様方の御好意を生徒および教職員に伝え、沼商の更なる飛躍のために全力を尽くして参ります。今後も皆様方の御支援を宜しくお願いいたします。

## 伝統の魂(こころ)

### 明日へつなげ



高橋幸雄  
(高二六回)

創立一七七年・第六三回同窓会総会が、昨年七月十六日ホテル沼津キャッスルにおいて、ご来賓の沼津市長様、清水町副町長様をはじめ、三名の恩師の先生方、校長先生以下学校関係者の皆様を含め二二名の参加をいただき大過なく盛大に開催できましたことを、当番幹事を代表しまして衷心より御礼と感謝申し上げます。

一昨年の同窓会において、二五回の先輩方より、「タスキ」を引き継ぎただちに、同窓会本部の皆様よりご助言をいただきながら、大きなプレッシャーを感じつつ一年間の準備活動をスタートしました。私たちの第六三回同窓会総会のスローガンは、諸先輩方が創り上げてこられた伝統を継承しつつ、

新たな未来に向かって歩き続けることが出来ることになるようにとの思いから、『丸子！徳倉！伝統の魂(こころ)・明日へつなげ』としました。

当初、数人から始まった当番幹事の活動でしたが、会合を重ねるにつれ同級生の仲間も増え、久しぶりの再会にもかかわらず、様々な課題に活発な意見やアイデアを出し合い同窓会総会に向け団結し無事に開催することが出来ました。これは、同級生に感謝するとともに、これからの人生における一生の友を得ることが出来ました。

また、協賛広告掲載のお願いのため伺いました御殿場支部、富士支部の様々な分野で活躍されておられる先輩方から、数多くのご縁とご恩をいただくとともに、各企業・店舗等の皆様のご協力と御支援をいただいたことに、本当に感謝の気持ちでいっぱいでございます。有難うございました。

この一年間の活動は、そのすべてが充実した時間であったと思っております。

結びに、同窓生の皆様方には、この輝かしい歴史をもつ沼津商業高等学校の伝統が、明日に繋がりますよう今後、益々のご活躍とご健勝を心より祈念いたします。そして私たち母校、沼津商業高等学校が益々隆盛なる前途を開拓し、発展することを祈り申し上げます。

# 昨年の卒業生からのメッセージ

守られていること  
の幸せ



佐久間葵  
(高六八回)

私は今、沼津信用金庫に勤務しています。

四月から一度も職場が嫌だと思つたことはありません。失敗はたくさんありました。落ち込んで泣いたこともあります。でも「ぬましん」の皆さんのおかげで、私はいつも前向きな気持ちで業務に取り組んでいます。

同期で高校卒は私のほかに一人。残り十八人は大学卒。最初は皆さんの足を引っ張らないようにと気ばかり焦って空回り、何をやっても私が一番ダメだと思うと情けなくなりました。その後、一つ一つ丁寧に覚えるため、一所懸命ノートをとりました。また私のとっては元氣な挨拶しかないと考え、支店では一番早く、大きな声で「いらっしやいませ」とお客様をお迎えするようにしました。入庫後間もなく、検定試験がありました。同期と比べて勉強面が

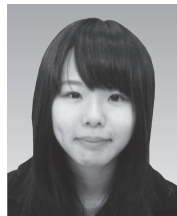
不安な私は、合格するため必死に頑張りました。支店長から合格を告げられた時、そこから少しずつ自信が芽生えてきました。その後大事な検定試験には合格し、今も資格取得を目指して勉強中です。高校を卒業してもやはり試験はあるんですね！でもこの資格が自分や「ぬましん」のためになると思うとやる気が出ます。

今は「ぬましん」というあたたくて頼りになる存在に守られている私です。周りの方々が本当に良い人たちばかりなので、それが一番嬉しいから私は頑張れます。

高校時代、私はバレーボール部に所属していました。「ぬましん」の理事から、ご自身が運営されているチームへの入部を勧められ、バレーは続けています。また小一から所属していたジュニアバレーの監督からコーチを頼まれ、平日の夜、小学生と一緒に汗を流しています。高校時代のバレー仲間と、大学バレーをしている人と話す、進学の道もあったかなと少し気持ちは揺れますが、私は沼商に入学したら金融機関に就職すると決めていたので、今はとても幸せです。

三年後の二〇二〇年は「ぬましん」が創立七十年を迎えます。私は二十二歳で入庫四年が経過。その頃には「ぬましん」のお客様、そして私の周りの全ての皆様から、頼りになる存在だと思われるよう、これからも一日一日頑張つて生きていきます。

「素直」になることの  
大切さ



国本佳連  
(高六八回)

私は、四月から沼津市の職員として働いています。最初は右も左も分からず、全てが初めてのことばかりでしたが、先輩職員の方に丁寧に教えていただき、少しずつ分かるようになりました。

しかし、慣れていくに従ってミスも増えていきます。ミスをすると、自分が大変になるだけでなく、相手や上司にも迷惑が掛かってしまうので、これからは、シンプルで簡単に見える作業ほど、慎重に二・三回は確認するなどして対策をとっていきたいと思います。

ミスをすれば、もちろん悪い事の方が多のですが、ミスをしたことによつて、気づかされたことがあります。それは、相手の方からご注意・ご指導を受けた際に、素直に自分のものとして吸収できる

かが、成長するか、しないかの鍵だということです。

高校生の時の私は、親や先生方からせつかくご注意・ご指導を受けても、正直ほとんど聞かずに通してしまいました。もう少し、相手の考えを受け流すのではなく、良いと思つたことを素直にとり入れていればと、今では後悔しています。

社会人になると、自分の意見を一切曲げない人は、とてもやっていけないと思います。私も少し頑固な部分があったのですが、社会人になって、素直になることの大切さを知り、自分を改善することができました。

また、それと同時に、注意をしてくださる方の、ありがたさを実感することができました。もし、相手の方が、私が違うことをしているのに注意してくれなかった場合、私は自分の悪い点に気づかず、日々を過ごしていたと思います。注意されて、その時は傷付いたとしても、後になっては絶対良いことなので、今後注意していただいた時には、まず感謝して、それから素直に受けとめ、改善していこうと思います。

これからも社会人として、まだまだひよっこですが、日々精進し、少しでも沼津市の発展に力を注げればと思っています。

## 故大井一郎先輩 の思い出

生田坦哉  
(高五回)

学生時代ラグビー漬けになっており、卒業後も沼商ラグビー部OBの一員として大井先輩のもと一生懸命勤めてきたのでラグビー関係の事しか分かりませんが、今思い出すには大井先輩の存在が如何に大きかったを思い知らされております。沼商ラグビー部を語るとき「産みの親西山(先生)育ての親加藤(先生)」と言われてきました。がラグビー部を生涯支えて来られたのは大井先輩でした。何時も身近に居るのが当たり前の存在でした。現役の試合の度に同行して下さり腹を空かせている我々になにがしか食わせていただいた事思い出します。よく大井先輩が言っていた「練習で泣いて試合で笑え」と。毎年度現役の合宿には差し入れをして下さいました。そして練習は三年生から率先して始めよ、食事は一年生から先に合言葉に厳しい練習に励んだものでした。お陰で常勝沼商の伝統を築いて来られました。ただラグビー部の再生が出来なかった事が何としても残念でした。晩年病魔に蝕まれながらも「人はこの地球に住まわせて頂いている、この地球のため何

が出来るか」と大井流哲学を語り皆をリードして来られました。同窓会長としても実行力のある大きな存在感のある人でした。

## 元同窓会副会長 近藤安敏君の思い出

藤本泰三  
(高八回)

何と言つても九十周年行事が一番ですね。彼が同窓会に対する思いが百パーセント含まれております。

行事開催が決定してから同期生各クラス代表を五名×七クラスを招集と言う基本動作の速かった事、それから各週ごと集まり、計画説明、進め方、資金の集め方を全員に徹底、これは彼の持つ誠実



近藤氏提供の鉄板でのイカ焼

さ、統率力、男気を理解した仲間が多くいたこと、当時脂の乗り切った自営経営者、サラリーマンと、あらゆる業種で活躍中の仲間を「丸子の杜、八回生」へと一つに纏めたのは誠実で男気のある彼でなくては不可能であったと思う。

また、それを受け入れた同期生の団結の賜物でもありました。

香陵グラウンドでの「ヤキソバ隊」

のために近藤鋼材原工場に鉄板を用意してヤキソバのプロを呼んで練習を繰り返したり沼津市内のパレードのため三島の町内より歴史ある山車を借用したり「友情の翼」と名打ったハワイ旅行のため飛行機一機をチャーターしたり、胸の透くようなことを力むことなく同期生を説得してやり遂げた。これはほんの一部だがいつまでも記憶に残る事柄です。

これからも学校、並びに同窓会を見守って頂きたい

衷心よりご冥福を祈ります。

合掌



## 「明石海人の会」の活動

川口公文  
(高八回)

平成十三年、同窓会は、母校の創立百周年事業に明石海人の顕彰が相応しいものとして、また奇しくも海人生誕百年を数えることと

併せて「明石海人顕彰委員会」を組織し盛大な顕彰事業を挙行しました。この事業の記念として校庭に一基、千本公園に三基の歌碑を建立しています。

その後の顕彰は、在校生対象に「海」を題として毎年短歌コンクールを行って来ています。

平成二十五年、同窓会では母校創立百十五周年を翌年に控え、その記念事業を計画、その内容について検討を重ね、明石海人顕彰の復活が相応しいのではないかと結論に達しました。

同年十月、常任幹事会の承認を受け「沼商同窓会 明石海人の会」が発足、会の理念として、先の顕彰委員会が掲げた「謂れのない差別と偏見のない社会の構築」を捉え、その理念を引継ぐとともに、まずは在校生と同窓生を中心に明石海人の名を周知させることから始めました。

翌平成二十六年十月、『歌人・明石海人と大島渚』と題し、故大島監督夫人で女優の小山明子氏を講師に迎えた母校創立百十五周年記念講演会は盛会裡に了したことは記憶に新しい所です。

会の通年活動としては、五月の在校生短歌コンクール審査と表彰、六月は海人の命日九日の墓参りと新入生を対象とした明石海人講演会を行っています。

また、母校創立百二十周年を二

年後に控えたいま、その記念事業を検討、準備する時期を迎えています。



昨年の講演会

在校生短歌コンクールは、昨年第十六回を迎えました。ここに昨年の最優秀作品と優秀作品三句を紹介します。

最優秀賞

喜多風花さん(三年生)

受話器越し元気かと問う祖母の声共に波音かすかに聞こえ

優秀賞

塚本穂乃花さん(三年生)

一瞬で全てを奪った冬の波濤

忘れることも永久に許さず

この坂を登ればきつと見える

はず空の青にも混ざらぬ海が

高木結菜さん(一年生)

砂浜で海に向かって叫び合う

大きな夢を風にのせて

各年度とも数多くの作品が寄せられ、昨年度は六百首を越える投

句があり、紹介した句の他佳作十二点が選考され、どの句も情景を巧みに織り込み優劣付け難いレベルの高いものでした。

会では、これら在校生や同窓生対象の諸活動をとおして明石海人の顕彰を継続いたしてまいります。終わりに、この紙面をお借りして、今後とも会員各位の同窓会への更なるご支援ご協力を切にお願

い申し上げ、「沼商同窓会 明石海人の会」の活動報告といたします。

支部だより

沼商「ふじの会」活動状況

事務局 工藤 毅(高一四回)

平成二十八年活動も総会を始め、ほぼ予定通り推移しました。

今回は、総会で行われる講演会について触れ度いと思ひます。毎年予算内で、誰を講師に依頼するか、大変頭を悩ます所です。会としては、この講演会は沼商に關係のない一般の方にも社会貢献の一貫として開放しており、毎回二・三十名の方が会員と一緒に熱心に聴講されております。因に、こ

こ数回の講師の方は佐治妙心さん「桜の花びら・祈りの心」、前田弘さん「DIYってどんなこと」、久保ひとみさん「元氣と笑いをお届け」、杉山直さん「表現の楽しさ・言葉の大切さ・日本語の美し



さ、八木洋行さん「物言う魚」等、毎回多士済済の方にお願ひしております。新会員も仲々増えない中、少しでも興味を持ち参加して頂けたらと役員一同願ひつつ、活動しております。

御殿場支部

山口 龍彦(高一七回)

十二月八日支部総会が開催され新役員として勝又義文(十八回卒)山本裕司(十九回卒) 各氏が長島晃一氏を支えることとなりました。この日は陽も出て暖かくなりましたが夜は高地、寒くなり昨年同様と同窓会長宇佐美文男、副会長杉山勝、学校長前田先生、代表幹事屋代操、各氏に御出席頂きましたが体調等悪くされなかつたかと心配になりました。学校長様よ



り学校の様子をお話し頂き、各々が努力し結果を出している事、進学就職と生徒達が努力している事を伺いました。前支部長勝又英男氏の発声で乾杯となり和やかな懇親会となり、卒業年度の違う方々が笑顔で語り合う、東京から来てくれた同窓生も有り新役員の努力が実ったように感じました。ゲストとして長島支部長の知人元陸将の永井昌弘氏のスピーチを聞く場を設けましたが時間の制限があり、氏も中国の行動等の説明で終り、もう少し聞きたいという気持ちになりました。自衛隊の活動等報道だけでは解らない面が多々有る事を知った有意義な時間となりました。

### 第4回生徒海外研修

期間 8月21日～25日  
訪問国 台湾（台北市内）  
研修生 一年生 田保奈波  
三年生 飯田一輝

〃 川口有莉香  
〃 野々山ありさ  
〃 湊 清美  
〃 市川博貴  
指導教員 見城喜哉（教頭）



今回の海外研修の中で、普段は得られない貴重な体験をたくさんすることができました。特にその中でも士林商業職業高校での学生の皆さんとの交流が私にとって大きな経験になりました。日本にいると日本語が通じず困ることはあ

まりありません。しかし、今回の交流の中で英語の必要性を強く感じました。初めは緊張してうまく話せませんでした。相手の学生は積極的に話しかけてくれて、少しずつ会話が続くようになりました。とても嬉しかったです。しかし、うまく伝わらないことや、理解できないことが何度かあったことが悔しかったです。今回の経験を意欲に変えて勉強に励んでいこうと思えました。初めて海外に行き、戸惑うこともありましたが、それ以上に行つて良かったと思います。これからの自分の進路についても、考えることができました。得た経験と学んだことを無駄にせず、活かしていきたいと思えます。

三年 湊 清美



### 沼商同窓会 「明石海人の会」

#### 講演会

実施日 6月24日（金）  
対象 一年生 二〇五名  
講師 笠井幸子（定高9回）

〓 講演を聴いて 〓

私は沼商に入学するまで明石海人のことを知らなかったが、今日の講義で深く知ることができました。さらに「ハンセン病」についても学ぶことができました。ハンセン病は今では治る病気ですが、昔はきつと恐ろしい病で、周りから偏見を受け、とても辛い日々を送っていたのだらうと思えました。今の私達には薬などで治すことができ、病気が多く、明石海人の気持ちまで理解できずとも、私なりに考えることができました。この病気がかかってしまった人は、多くの人から差別を受け、自由を失い、目も見えず、身体もぼろぼろになっていくという、私には耐えられないような日々を送っていた中で、歌をつくった「愛生」の人々のように、辛い中でも想像することで、少しでも故郷への愛や幸せを思い出していたのだらうと思えました。いつ、自分の身体が、心が、声さえもコントロールできるか分からないという恐怖の中、それを忘れるかのような

歌をつくり続けた明石海人は素晴らしい尊い人だと思いました。画家にはなれませんでした。歌人として輝いた人だと思えます。私は今何の不自由もなく生きていられることを幸せに思い、辛い時でも前を向いて進んでいけるような人間でありたいです。

一年 花崎みやび

### 第16回明石海人賞

#### 校内短歌コンクール

☆最優秀賞☆  
受話器越し

元気かと問う祖母の声

共に波音かすかに聞こえ

三年 喜多風花  
5月28日（土）表彰式



紫旆祭開会式にて

部活動紹介

弓道部

全国高校総合体育大会(8月)

☆5位入賞☆

私は、全国大会出場まで様々な人達に支えられてきました。指導して下さった先生、練習に専念できる環境を作ってくれた部員、支援をして下さったOB・OGの皆様、他にもたくさんの人達に支えられていました。そのお陰で全国5位という結果に繋がりました。全国大会出場が決まってから、練習がより濃いものになり、遠征も多くなりました。思い通りにいかない時も多く、練習に行きたくないと思うこともありました。しかし、自分達のために手伝いをしてくれる部員のことを考えれば、自分に負けてはいけないと思いました。全国大会では、今までの練習や遠征の経験もあり、自分達の弓をひくことができました。予選を通過してからは、とにかく自分に勝つて、やることをやると考えながら弓をひきました。順位が決まった時、今まで支えて下さった方々に、結果で返すことができたと思えました。プレッシャーに負けず自分の弓をひくことができて良かったです。応援してくださった皆様、本当にありがとうございました。

部長 井川 理恵



陸上競技部

私たち陸上競技部は、自己記録向上と県大会出場という目標に向かって、部員全員で協力して練習に励んでいます。陸上競技には競走、跳躍、投擲など様々な種目があります。その中で私は、跳躍の走幅跳に取り組んでいます。高校から陸上を始めたので、陸上経験者との技術の差が大きく、記録を伸ばすのに苦労しました。しかし諦めずに日々の練習に取り組み、他校との合同合宿や練習会にも参加しました。部員だけでなく他校にもライバルや応援してくれる友人ができて、いろいろな先生方からご指導をいただきながら努力を続けた結果、少しずつ記録が向上し

目標だった新人戦やインターハイ選手権の県大会に三度出場することができ、応援して下さる方々の大切さを知ることができました。これからも陸上競技を通じて学んだ、何事にも諦めずに努力すること、そして、応援して下さいの方々への感謝の気持ちを忘れずに、更なる記録向上や目標に挑戦していきたいです。応援よろしくお願ひします。

副部長 鈴木 優希

電算機部

全国高校情報科学競技大会(3月)

I P 部門 団体 4位

個人 6位 後藤優菜

S E 部門 団体 3位

個人 優勝 武井悠真

全国高校情報処理競技県大会(6月)

団体の部 優勝(4連覇)

個人の部 優勝 武井悠真

同 3位 石井優衣

全国高校情報処理競技大会(7月)

団体の部 4位

全国高校 I T 選手権大会(8月)

団体の部 5位

全国高校情報処理選手権(8月)

団体の部 6位

東海高校実務競技会(11月)

情報処理の部

団体の部 6位

個人の部 4位 武井悠真

第66回県商業科実務競技大会(9月)

団体入賞

商業デザイン部の部 優勝

情報処理 A の部 準優勝  
情報処理 B の部 準優勝  
英文ワープロの部 4位  
個人入賞

商業デザイン部の部

第二部門 金賞 山本知奈(2年)

第三部門 金賞 鈴木優莉(3年)

第四部門 金賞 森田風咲(2年)

東海大会出場

団体 情報処理 A

英文ワープロ

個人 珠算 後藤寧々(2年)

簿記 藤池 豊(3年)

第10回県商業研究発表会(8月)

優勝 菊地 史織(3年)

青木友里華(3年)

岡田 美紅(3年)

岡本 美優(3年)



平成28年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算書

Table with 4 columns: 収入の部 (金額), 支出の部 (金額), 科目, 金額. Includes items like 前年度より繰越金, 28年度期間収益, 合計.

平成28年度 静岡県立沼津商業高等学校同窓会育英基金決算報告書

Table with 4 columns: 収入の部 (金額), 支出の部 (金額), 科目, 金額. Includes items like 同窓会より奨学金, 同窓会より研修費, 合計.

平成28年度 沼津商業振興育英基金(阿部基金)決算書

Table with 4 columns: 収入の部 (金額), 支出の部 (金額), 科目, 金額. Includes items like 前年度より繰越金, 奨学金より返済金, 合計.

平成28年度 沼津商業高等学校同窓会経常費会計決算書

Table with 4 columns: 収入の部 (金額), 支出の部 (金額), 科目, 金額. Includes items like 前期繰越金, 年会費収入, 合計.

平成二八年度決算報告

平成二九年三月、男子卒業生五二名、女子卒業生一五一名の二〇三名が新会員として登録され、二月二十八日に入会式を行いました。

今年も二〇三名が新会員に

事務局だより



富士山の植樹に参加して

中島 恵子(高二二回)

四月二十九日(昭和の日) 今にも泣き出しそうな空をながめながら、車を走らせる。行き先は裾野市須山「浅木塚国有林」富士市桑崎を経由し、集合場所は、子どもの国の駐車場。学校発のバスを待機する間、激しい雨と冷え。開催が危まれる。お孫さん連れの先輩や先生方も心配顔だ。やがて学校からのバス二台が到着。校長先生始め、先生方、在校生の顔を見て一安心。ともかく、現地への事で、恒例の写真撮影はなし。バスの後を

見失わないように急ぐ。他の組織のバスも次々に到着。この頃には小降りになり、涵養林へと急ぐ。杉木立が傘のかわりで、雨に濡れる事もなく四十五分程で到着。説明を受け、すぐ様作業開始。傾斜地と雨後の為、苗木を運ぶ事も難航。参加者の高齢化が目立つ。沼商生が頼みの綱のようだ。毎回感じられる事だが、在校生なしでは、この事業は無理だと思ふ。

第十三回 沼商OB美術展のお知らせ

指定の場所を終ると、あちらこちらから、手伝つてと声がかかる。作業を終え、食事をする頃には、青空が広がり、富士山の頂上も見えてきた。校旗を掲げ、意気揚々と山を下る姿に心を打たれた。

参加者は六十六名、内在校生は五十五名(生徒会・野球部・ボランティア班)の皆さんありがとうございました！

同窓会へのご連絡お問い合わせは... 電話・ファックス兼用 ○五五・九三二・五七七七 (土・日・祝日を除く月・金の午前十一時～午後三時まで)

いに声を掛けあい、OB展の絆をより深め、又笑顔で再会できますよう、お互いに励んでいきましょう。 日時 平成二十九年 六月二十二日(木) 二十八日(水) 場所 静岡銀行八F 四季連絡先 三宅 優 TEL ○九〇一五六〇四一六三二二 今年も、よろしくお願い致します。



第12回OB美術展記念写真